

去年今年貫く棒の如きもの 高浜虚子

物事には変わってはいけなものと変わらなければいけないものがあります。変革を掲げたオバマ氏がアメリカ大統領に選ばれました。来年のアメリカはそして世界はどう変化するのでしょうか。

去年今年(こそこし)は新年を表す季語。標記の句は、悠久の時の流れの中で貫くものは新年が明けても変わらない、信条も実生活も。それは変哲のないまっすぐな棒のようなものであるという時間の流れと人の生き様を綴った大人ならではの人生句です。

2009年、ひるま矯正歯科は太い棒を貫きながら変革を模索する年になりそうです。

8020運動

8020は「はちまるにいまる」と読み、8020運動とは「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」と啓発する運動です。80歳で20本という理由は、親知らずを除く28本の歯のうち少なくとも20本以上自分の歯があれば、ほとんどの食物を咬み砕くことができ、おいしく食べられるからです。確かに20本以上の歯を持つ高齢者は、それ未満の人に比べ活動的で、寝たきりとなることも少ないという報告が沢山あります。

この運動は、平成元年に時の厚生省と日本歯科医師会が提唱して始まったもので、今年で20年になります。厚生労働省の

ひるまだより

2008.11 vol.24



医療法人社団トモニアム
ひるま矯正歯科
Hiruma Orthodontic Office

立川市曙町2-9-1 菊屋ビルディング2F
TEL:042-526-3376/FAX:042-528-1102
URL:http://www.hiruma.or.jp/

スタッフリレーエッセイ



ひるま矯正歯科
受付 助手
川上沙耶香

皆さん初めまして！ 青森出身の川上沙耶香です。先月退職

した出川さんと河林さんの紹介で、受付を担当することになりました。受付の仕事は初めてで、一から覚えることがたくさんあり、日々頭がパンクしそうです。早く仕事を覚えて一人前になりたいと思っ

て頑張っています。ひるま矯正歯科で仕事をするようになって、これまで知らなかったフッ素やフロスのこと、歯の裏側の磨き方などを教えていただき、

歯磨きが好きになりました。きれいに磨けたと思っ

ています。

以前、私は喫煙者だったのですが、タバコを吸っていると歯周病になりやすいことや、歯茎の色が変わることなど、喫煙による恐ろしい弊害について康明先生に教えていただき、今は禁煙しています。タバコは友達だったので少し寂しいですが、年をとってからもおいしいものを食べたいので頑張ります。こんな私ですが、これからどうぞ宜しくお願いします！

最新(平成17年)の調査報告によると、80歳の日本人の平均歯数は10本、80歳で20本以上自分の歯を持つ人の割合は24%、つまり4人に1人となっています。

目標にはまだまだの数値ですが、この20年の歩みは、平成5年、11年、17年と見てみると、80歳の日本人の平均歯数は6本↓8本↓10本に、80歳で20本以上自分の歯を持つ人の割合は11%↓15%↓24%にと、欧米や北欧と比べると数値はかなり落ちます。運動の実績は着実に上がっていることが分かります。歯の先進国との差は、歯科における予防(ケア、メインテナンス)システムと国民意識の違い(高さ)にありますので、ぜひ再読して下さい。

和顔愛語の「ホッ」と「ひと息」

和顔愛語

和顔愛語(わけんあいご)は大無量寿経というお経の中に出てくる言葉ですが、和顔とは「まごやかな顔」、愛語とはやさしい言葉」のことで、「善意に満ちたなごやかな笑顔で、愛情のこもったやさしい言葉で相手に接しなさい」という教えです。大無量寿経には、このあとに先意承問(せんいじょうもん)という言葉が続きます。これは「向こうから言われるより先に相手の気持ちを察し、その望みを満たしてあげなさい」という教えです。「和顔愛語 先意承問」とは、相手の気持ちを慮って相手が気持ちよいと思えることをするという社会性を身に付けることの大切さを説いた言葉といえましょう。

前号の冒頭で、8月にアンケート調査を行なったことをご報告しましたが、頂いた回答の中に考えるべき提言がいくつかありました。のでスタッフで話し合いをしました。たとえば挨拶について、診療室への入室や送り出しの際の声掛けが疎かになりがちだったことを反省し、患者さんに「感じがいい」と思っただけのような具体的な提案がいくつか出されました。その話し合いを聞きながら「和顔愛語 先意承問」の言葉を思い出していました。

初めてこの言葉を聞いたのは色々な事情で当家に居候していたN君の結婚披露宴のことでした。友人たちが手回しをした披露宴は若い人ばかりで、ことに花嫁側に主賓となる大人がいませんでした。結婚式は彼岸のお中日でしたが、寺の住職だった父はその役を快く引き受けてくれました。花嫁とはまったく面識もなくその経歴も聞かなかった父は、花嫁の「和子」という名前から「和顔愛語 先意承問」の言葉を引いて、格調高く胸に響く主賓の挨拶をしました。N君までも「お父さん」と呼んで慕った父には、以来ずっと借りがあるような気がしていますが、その父が亡くなってからすでに20年。主賓の挨拶をしたその時の父の年齢を、いま自分が超えていることに不思議な感覚を覚えます。

- ▼受付の出川さんと下山さんが出産と育児のため退職されました。
- ▼受付は1年ぶりに渡辺利恵さんが復帰、新たに川上沙耶香さんと岸村知子さんが加わりました。まだ不慣れなため面倒をお掛けすると思っ
- ▼12月28日(日)午前中まで、新年は5日(月)から診療です。(12月28日午後から1月4日まで冬季休暇とさせていただきます)